



## 奇跡のもとに生まれた私たち

校長 小菅 みちる

12月になりました。朝の冷え込みはとともひどくなりましたが、学校では美化委員会主催による落ち葉掃きボランティアが行われました。一昨年までKFCプロジェクトとして生徒会長・美化委員長を中心に行った落ち葉掃きですが、昨年度からは堂々と生徒会美化委員会主催で実施しています。生徒主体の活動として定着していることを、うれしく思います。春の桜の花びら掃きは、学校生活に慣れていない1年生は参加できなかったのですが、落ち葉掃きは違いましたね。1年生も主体的に活動してくれました。どうもありがとう！

さて、12月1日から5日までは、生命尊重週間でした。「生命尊重」というのはどういうことでしょうか。「生命を尊重する」つまり、人間や動植物といったものの生命を大切にすること、生命に対して畏敬の念を抱くことですね。つまりそれは、「生きていること」を尊重すること。言い換えると、人として生きていくことに喜びを見いだしたり、力強く生きようしたり、相手を思いやる気持ちをもったりすることなのではないでしょうか。

私たちが生まれてくるまでの間には、たくさんの偶然と必然が折り重なっています。ですから、この世に生を受けるということは、何兆分の1の確率になるわけです。そんな奇跡のような確率で生まれてきた自分自身を、大切にしなければなりません。それから自分の周りの人々を大切にしましょう。だって、みんな、ここにいること自体が「奇跡」なのですから。

12月19日には生徒会主催で石中タイムが行われます。石中タイムは、石川台中学校が平成28年から30年にかけて東京都スーパーアクティブスクール校に指定されていたときに生まれたものです。体力向上のために先生方主導で行っていたものが、全校レクとして生徒が中心になって行うものへと形を変えて継承しているのは、とてもすてきなことです。学校一丸となって楽しい時間にしましょう。

インフルエンザが猛威を振るい、過日は1年C組、2年B組が学級閉鎖となってしまいました。手洗いや換気などの対策はもちろんですが、十分な睡眠と栄養も大切です。心も体も元気な状態で2学期を終えられるようにしましょう。

また、3年生はいま進路に向けての校長面接が終わったところです。石中の教育目標はしっかり言えますか？あなたはそれを達成するためにどんなことを頑張ってきましたか？石中で学んだことを進路先でどのように生かしていきますか？……これまでのこと、これからのこと、すべてはつながっているのです。表面的なカッコイイ言葉ではなく、心の底からの自分の言葉で伝えられるよう、丁寧に考えてくださいね。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・きりとり・・・・・・・・・・・・・・・・

学校だより12月号 感想などありましたらお書きください。お名前を伏せて掲載させていただくことができます。

## ◎表彰の記録など◎

- ◆ 大田区立連合学芸会（英語の部）  
優勝 2年生（都大会に出場します）
- ◆ 令和7年度 中学生の「税についての作文」  
雪谷間税会長賞 3年 「暫定税率が出来る事」  
雪谷納税貯蓄組合連合会 優秀賞 3年 「自分事として考える税金」
- ◆ 第三十六回伊藤園お〜いお茶新俳句大賞  
佳作 3年生 「雪は今 涙とともに 降りそそぐ」
- ◆ 第13回全日本小中学生ダンスコンクール  
O.T.A ダンスチーム「ブルーセンセーション！」（2年生 1名参加）

## 連合スポーツ大会 全員で頑張りました！！

11月21日（金）大森スポーツセンターにて連合スポーツ大会（種目：エキシビジョン「ソーラン節」、バスケットボール）が開催されました。今年度からこれまでの連合運動会と連合球技大会が統合され、第1回目となった連合スポーツ大会。それぞれで行っていた種目の内、ソーラン節とバスケットボールの2種目を実施しました。

ソーラン節では、全10校で前後半5校ずつに分かれて、学校ごとに特色のあるソーラン節をお互いに見せ合うことができました。

バスケットボールでは、石川台中は3ブロックに2チーム、4ブロックに1チーム出場しました。3ブロックAでは1勝で第4位、3ブロックBでは2勝で第3位に、4ブロックでは1勝で第5位に入賞することができました。保護者の方々の声援に背中を押してもらい、持てる力を全て出し切って上記の成績を収めることができました。



## ありがとう 石川台中みかんの木

毎年たくさんのみかんを実らせ、給食でも味わうことができた特活室前の温州みかんの木が、改修工事に伴い伐採されることとなりました。

今年も多くのみかんが実り、先日最後のみかん狩りが行われました。収穫されたみかんは、12月6日に全校生徒に配布されました。長年石川台中学校の生徒・教職員を楽しませてくれたみかんの味はいかがだったでしょうか。

なお、岩石園側のみかんの木はこれからも残り、1月に収穫を予定しています。



## ★学校改築ニュース★

学校改築に向けての工事がはじまりました。3学期の音楽室、図書室、PTA室の移転に向けて、パソコン室と木工室の工事が進んでいます。工事のため、校庭の一部に仮囲いが設けられたため活動できる範囲が狭くなっています。テニスコートが作れなくなってしまいましたが、洗足池小学校の校庭のテニスコートをお借りすることができました。テニス部は先勝で活動するひもがあります。コートをかしてくださる洗足池小



学校に感謝です。



## 美化委員会主催 落ち葉掃きに

### ボランティアが多数参加をしてくれました！

12/2(火)～12/9(火)朝8:05～8:15  
に美化委員会の呼びかけで、落ち葉掃きのボラン  
ティアを行いました。日ごとに担当学年を分け、  
校庭や生徒玄関前の落ち葉の清掃を行いました。  
朝の活動でしたが、日を追うごとに参加者がどん  
どん増え、最終的には全学年合わせて97名の生徒が参加してくれ  
ました。皆さんありがとうございました。



〈落ち葉掃きボランティア参加者〉

1年生 36名  
2年生 32名  
3年生 29名

## 狂言教室でお世話になった、則重則秀の会 山本様より お手紙をいただきました

9月に行われた狂言教室で、生徒のみなさんの感想や質問を、則重則秀の会 山本様にお送りしたところ、お返事と質問のご回答をいただきました。長く石川台中学校で狂言教室を実施してくださり、さらにその年その年、生徒のみなさんのことを考えて公演をしてくださっていることは本当に有難いことです。届いた手紙、そして一部抜粋となりますが質問の回答を掲載します。ぜひ、狂言教室を思い出して読んでみてください。

### 前略

石川台中学校狂言教室の頃の猛暑の夏から冬に差し掛かってまいりました。その節には大変お世話になりましてありがとうございました。またたくさんの子どもの感想やご質問をいただき、重ねてありがとうございます。

生徒の感想では、ご自身が演劇をされていて、声の出し方のコツや装束・小道具に目がいつているのはさすが、生徒さんの積み重ねの結果ではないでしょうか。感心いたしました。私どもが皆様の感想文から得たものは、

- 1 興味を深めてくださったこと
- 2 自分と照らし合わせて見てくださったこと
- 3 想像してくださったこと など

どれをとってもうれしいものでした。ありがとうございました。

これらの狂言鑑賞教室を実施してくださった先生方にも感謝申し上げます。ありがとうございました。

学校行事も多いころかと存じます。どうぞお身体にお気をつけてご活躍くださいませ。

## 石川台中学校の皆様のご質問の答え

### 質問『演じるうえで「楽しい」と感じることは』

お客様が楽しんでご覧になっている様子は演者に伝わり、後押ししてくれていると感じるものです。「楽しい」の共有です。もちろん、より良い演技につながります。

### 質問『どのくらいの年数で「一人前」になれますか』

能楽（能と狂言を一緒にして能楽と言います）のプロは内弟子修業を5～10年して能楽協会員になり、舞台に立てます。しかし一生が修行です。

### 質問『狂言を継承する中で、これまでの基本的な演じ方や舞台を変えようと思うことはなかったのでしょうか』

我々山本家の家訓は「乱れて盛んにならんよりは固く守りて滅びよ」です。伝統芸能を守り伝えることは非常に難しいことです。長い間には時代に沿った変化はしています。一語一句変わらないわけではありません。狂言はお客様を笑わせてこそという演者もいます。それも一理あるとは思いますが。

しかし、我々は今日まで受け継がれてきたものは瀟（こ）されて良いものが残っていると考えます。壊すのは簡単ですがあつという間に本来のものがなくなってしまう。

### 質問「狂言の動きやストーリーを覚えるために、どのくらいの期間、稽古しますか。また、どのように透き通る声を出すためにどのような練習が必要ですか。」

日本の伝統芸能である狂言は親から子へと伝えられてきました。狂言の家に生まれた子は4～5歳になると稽古を始めます。師匠は父親や祖父、叔父などです。幼いうちは短い謡（うたい）を1句1句口伝（くでん、口伝え）で習い、謡を覚えたのちにその舞（小舞）を繰り返し繰り返し稽古をします。

この謡や舞が舞台のセリフや声の出し方、舞台の立ち居の基礎となり小さいころから稽古を重ねることで身体に染みこませていくのです。

皆様をご覧になられた「柿山伏」や「附子」はそれこそ何回も繰り返し演じていますのでそのたびに稽古はいたしません。声質の良し悪しはここに生まれ持ったものがありますから何が良いとは言えませんが1つ1つの言葉をたいせつに言っているか、おなかの底から声を出しているかなどを意識しながら繰り返し重ねることで、『近くで聞いてうるさくなく、遠くの観客にもきちんと聞こえる声』を作ります。

### 質問『海外公演も日本語で演じるのですか？』

日本語で演じます。言葉がわからなくても所作（しよさ）のところで理解してくれます。後に感想などを聞くと日本人と同じような理解をしているのが分かります。ただし公演により字幕対応などするところもあります。

### 質問『「柿山伏」では多くの動物の声が出てきましたが、どんな動物でもできますか？』

「柿山伏」に出てくるカラス、猿、鳶のほかにも鶏、犬、馬、牛、狐、狸などがあります。きりん、象、ライオンなどは演目に出てきませんのでありません。

余談ですが学校公演で「びょう、びょうとなく動物はなんですか？」とクイズに出しますがなかなか正解が出ません。じつは犬の鳴き声です。今と全然違いますね。これは家で飼っている犬ではなく昔の野良犬です。

# 人権啓発作品展が開催されました！

12月4日（木）～11日（木）に池上会館で「大田区立小・中学校人権啓発作品展」が開催されてました。本校からは、学校を代表して6名の生徒の作品が出品されました。皆さん作品出品おめでとうございます。

## <作品展出品生徒名>

ポスターの部	1年生	「気づかない」
	3年生	「色々な好きを認める時代」
標語の部	3年生	「歴史と憲法 学んで知ろう 苦しみを」
	3年生	「認め合い 皆でつながる 平和の輪」
習字の部	1年生	「人権」
	1年生	「愛」